考查項目	細	別	a	b	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質 土木工事 土木工事		品質関係の試験結果が規格 値、試験基準を満足しばらつきが 規格値の50%以内である。[関連 基準、土木工事施工管理基準、 その他設計図書に定められた試 験]	品質関係の試験結果が規格 値、試験基準を満足し、ばらつき が規格値の80%以内である。 ※ばらつきの判断は別紙参照	□ 品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。	品質関係の試験結果が規格値、 試験基準を超えるものがあり、ばら つきが大きい。	□ 品質関係の試験結果が規格 値、試験基準を満足せず品質が 劣る。
		- · · · · · · ·	※」 ※ ばらつきの判断は別紙参照。				
		PF (NX)	※ ばらつきの判断は別紙参照。 [評価対象項目] 設計図書で定められている使用材 材料の品質規格証明書が整備され	を行方法が適切に行われていることが存 こ創意工夫がある。 可により管理されている。 引記録が整備されている。 施工である。	□監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	型契約約款第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e	
			□付属構造物等の施行が良好で、居 ※ 試験結果の打点数等が少なく ※ ばらつきが少なく、該当項目が ※ ばらつきが少なく、該当項目が ※ ばらつきが少なく、該当項目が ※ ばらつきが少なく、該当項目が 上記該当あれば・・・・ ※ ① 品質の評定は、工事全般を通し ② 品質とは、設計図書に示された	図との取り合わせが適切に行われていばらつきの判断ができない場合は評価 80%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が象項目だけで評価する。	① 当該「評価対象項目」のうち、評(② 削除項目のある場合は削除後の比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/(④ なお、削除後の評価対象項目数 C評価とする。	評価項目数を母数として、)対象評価項目数。

考查項目	細別	a	b	С	d	е
3. 出来形及び	T 口所	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
出来ばえ	機械設備工	[評価対象項目] □ 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が充分実施され、内容が確認できる。			□監督員が文書で改善指示を行った。	型契約約款第17条第2項に基づ き破壊検査を行った。
	※上記欄によ らず、当該欄	■ 材料の品質照合がミルシート等(更新品の品質、性能が証明書等で確認。	見物照合を含む)で確認でき、満足して 認でき、満足している。	上記該当あれば・・・ d	上記該当あれば・・・ e	
		機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。				
					数として、比率(%) 項目数。	

考查項目		工 種	а	b	С	d	е
3. 出来形及び	П.	品質	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
出来ばえ		建築工事 (新築) ※上記欄によ らず、当該欄	[評価対象項目] (躯体工事) □ 品質管理方法が明確で品質確保 □ 施工計画書に定められた品質管3			□監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	■契約約款第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・・e
			材料の品質証明が適切である。□請負者の品質管理計画による品質				
			施工の品質・形状が適切で良好な施工である。				
			不可視部分の写真記録が適切で	<i>వ్</i> వం			
			(仕上げ工事)				
			■品質管理方法が明確で品質確保	に創意工夫がある。			
	■施工計画書に定められた品質管理計画により管理されている。						
			材料の品質証明が適切である。				
			請負者の品質管理計画による品質	質管理記録が整備されている。			
			■施工の品質・形状が適切で良好な	た施工である。			
				<u></u>	/ _ = _ %		
			該当項目が 90%以上・・・・・ 該当項目が 80%以上90%未 該当項目が 60%以上80%未 該当項目が60%未満・・・・	・・・・ a ② 肖 満・・ b 。 。 満・・ c 。 ③ 許 ・・・・ d 4 な	á該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価 別除項目のある場合は削除後の評価項目数を母 平価する。 平価値(%)=()評価数/()対象評 お、削除後の評価対象項目数が2項目以下のな	数として、比率(%)で 西項目数。 場合はc評価とする。	

考查項目	工種	a	b	С	d	е
3. 出来形及び	Ⅱ. 品質	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
出来ばえ	建築工事 (改修) ※上記欄によ らず、当該欄 で評価	- [評価対象項目] □ 品質管理方法が明確で、品質管理 □ 施工計画書に定められた品質管理 □ 材料の品質証明が適切である。 □ 請負者の品質管理計画による品質	里計画により管理されている。 賃管理記録が整備されている。		■監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・d	□契約約款第17条第2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・e
		□ 施工の各段階における完了状態に □ 不可視部分の品質が工事写真で。 □ 各種構造の躯体工事における施	、的確に確認できる。			
		□内外仕上げ工事における施工の品 該当項目が 90%以上・・・・ 該当項目が 80%以上90%未 該当項目が 60%以上80%未 該当項目が60%未満・・・・	···· a 満·· b 満·· c	/ = %	 当該「評定対象項目」のうち、評価 削除項目のある場合は削除後の評で 評価する。 評価値(%)=()評価数/ なお、削除後の評価対象項目数が 	平価項目数を母数として、比率(%) ()対象評価項目数。
		品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	電気設備工 ※上記欄によらず、当該欄 で評価	[評価対象項目] (機材)	は、設計図書等に適合する証明書が整 录が整備されている。 好な施工である。 た施工である。 こついて、良好な品質を確認できる。 に運転、確認方法等が適切であり、記録の でいかで、的確に確認できる。 理に創意工夫がある。		□監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・・ d ① 当該「評定対象項目」のうち、評価② 削除項目のある場合は削除後の評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数、④ なお、削除後の評価対象項目数が	評価項目数を母数として、比率(%)で /()対象評価項目数。

考查項目	T -	工 種	a	b	С	d	е
	1		品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
出来ばえ		一 冷暖房衛生 設備工事	[評価対象項目] (機材)				
		※上記欄によらず、当該欄	機材の品質が、承諾図等により確認	認でき、設計図書を満足している。		監督員が文書で改善指示を行った。	契約約款第17条第2項に基づき破壊検査を行った。
			製造者による試験が的確に行われ	し、設計図書等に適合する証明書が整	備されている。	上記該当あれば・・・ d	上記該当あれば・・・ e
			(施工) □品質計画による品質管理記録が整				
			■施工の品質及び形状が適切で良好	好な施工である。			
			品質が設計図書を満足し、適切な	施工である。			
			機能の適切性が確認できる、試運	転等の記録が整備されている。			
			システムの性能及び機能に関する試	運転、確認方法等が適切であり、記録の	D内容が設計図書を満足し良好である。		
			不可視部分となる品質が工事写真	[等で、的確に確認できる。			
			品質管理方法が明確で、品質管理	里に創意工夫がある。		○ 火計「並ウ牡布頂口」の5と 並加	対免力の証圧でロバッパクナフ
						① 当該「評定対象項目」のうち、評価 ② 削除項目のある場合は削除後の記	
			該当項目が80%以上90%未	該当項目が 90%以上・・・・・・・ a 該当項目が 80%以上90%未満・・ b 該当項目が 60%以上80%未満・・ c			()対象評価項目数。 32項目以下の場合はc評価とする。
			該当項目が60%未満・・・・・			i	
	TT	tra th	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		解体工事	[評価対象項目]				—— 初处处势燃17.8 燃 OTE) z 甘 ざ
		※上記欄によらず、当該欄	解体工法・手順に創意工夫がある	0		■監督員が文書で改善指示を行った。	型契約約款第17条第2項に基づき破壊検査を行った。
			■施工計画書に定められた解体計画	町により管理されている。		上記該当あれば・・・ d	上記該当あれば・・・ e
			建設副産物の分別・保管に創意工	上夫がある。			
			管理記録が整備されている。				
			有害物の処理が適切になされてい	る。			
			不可視部分の写真管理が適切で	ある。			
			□その他 (理由:)	① 当該「評定対象項目」のうち、評価	対象外の評価項目け削除する
						② 削除項目のある場合は削除後の記	•
			該当項目が 90%以上・・・・・			評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/ ④ なお、削除後の評価対象項目数だ。	
			該当項目が80%以上90%未 該当項目が60%以上80%未 該当項目が60%未満・・・・・	満・・ c			i